

# 平成20年度「少年平和と友情の翼」の様子

事前研修 7月13日



みんな最初は、緊張しています。



長崎原爆資料館の見学をして、原爆被爆の実相について学習しました。



沖縄の歴史や地上戦の学習をしました。



沖縄研修の役割などを決めました。

## 沖縄研修(1日目) 7月23日



那覇市役所表敬訪問



対馬丸記念館



小桜の塔



首里城



那覇市立真和志中学校の皆さんと一緒に、ひめゆり学徒隊生存者の島袋淑子さんのお話を聴きました。

# 沖縄研修(2日目) 7月24日

沖縄平和祈念公園



各班の代表で長崎県の碑に献花しました。



沖縄県平和祈念資料館



平和の礎<sup>いしじ</sup>

平和の礎には、沖縄戦で亡くなった長崎県出身の方の氏名も多く刻まれていました。



ひめゆりの塔



ひめゆり平和祈念資料館



糸数の壕



壕の中は真っ暗でした。

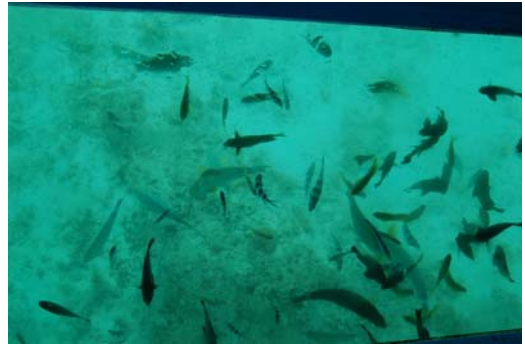


交流会



# 沖縄研修(3日目) 7月25日

## 新原ビーチ



グラスボートに乗って海の中の魚やサンゴをみました。



# おきなわワールド

## 玉泉洞



## 沖縄の太鼓舞踊 エイサー

## 那覇国際通り



## 那覇空港



## 日程

### 1 事前研修（オリエンテーション、原爆資料館見学、沖縄研修の事前講習）

#### ●目的

- ・ 沖縄での平和学習をより多いものにするため、長崎原爆や沖縄戦について、ビデオや講演などをおして基礎的な学習をする
- ・ 長崎団としての連携と友情を深める
- ・ 集団生活や団体行動についての約束を確認する

#### ●場所 原爆資料館

### 2 沖縄研修

#### ●目的

研修・交流活動をおして、お互いの連帯と友情を深めながら、平和の尊さと社会参加の意義を学ぶことを目的としています。

#### ●場所 沖縄県

#### ●スケジュール

7月23日(水)	原爆資料館発、長崎空港→那覇空港、旧第32軍司令部壕、首里城、対馬丸記念館、ひめゆり学徒隊生存者講話
7月24日(木)	平和祈念公園、沖縄県平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館、糸数の壕 那覇市生徒との平和交流会
7月25日(金)	海洋体験、おきなわワールド、那覇空港→長崎空港、原爆資料館着

### 3 青少年ピースフォーラム

#### ●目的

全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年のみなさんと地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図ることを目的としています。

#### ●場所 平和会館

※ 8月9日が登校日の場合は、学校を優先します。

### 4 平和学習発表会

#### ●目的

長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表をおして、各学校における生徒の平和への取り組みを発展させる機会とすることを目的としています。

#### ●場所 平和会館

## 参加者の感想

今回の沖縄研修には長崎県内から26人の中学生が参加しました。参加した方の感想の一部を紹介します。

### 中学1年 女子

対馬丸記念館と首里城と小桜の塔の3つの施設、ひめゆり学徒生存者である島袋さんの講話を聞くなど、貴重な体験をたくさんすることができてとてもよかったです。世界遺産など、めったに目にすることができませんが、この活動を通して、沖縄の平和と世界遺産を合わせて、平和について学習することができました。島袋さんのお話では、実話をとても分かりやすく、とてもリアルな話し方で、私の心の中で考えていた小さな平和を大きく膨らませてくれ、改めて、平和の大切さ、尊さを学ぶことができました。そして、戦争の恐ろしさ、被爆者たちの怒りや悲しみなども考えることができました。島袋さんのように、目の前で友人を失った悲しみが伝わってきました。もっと一緒にいたかったけれど、戦争というこの2文字が、たくさんの人たちの幸せを奪ったというのが、島袋さんの話からたくさん伝わり、心の中に響きわたりました。この活動を通して、長崎だけでなく沖縄の戦争と平和について、たくさん学んで、これからの生活に生かしていきたいです。

また、平和祈念公園、ひめゆり平和祈念資料館、糸数の壕の3つの場所にも行き、それぞれの場所で、平和についてたくさん考えることができました。特に糸数の壕では戦争の戦跡を目の前で見ることができ、改めて戦争というのを実感しました。そして、ここ（壕）に病院があり、兵士やいろいろな人がたくさんいたなんて想像できませんでした。中は、電気を消すと真っ暗で何も見えない状態だったからです。

ひめゆり平和祈念資料館では、平和について考えさせてくれる言葉がたくさんありました。そして、被爆者の人たちの写真を見ていると、この世に核兵器があり、沖縄で地上戦が本当にあったのだと思い、人間の力で戦争を許さないように努力できるのも、みんな人間だと思いました。

平和祈念資料館や平和祈念公園では、平和の礎に刻まれているたくさんの亡くなった人たちの名前があり、びっくりしました。こんなにもたくさんの人の命が奪われたと思い、とても悲しくなりました。中には名前が分からずに刻まれていない人もいて、そのくらいたくさんの人が亡くなったと実感しました。

私は、この活動に参加し、日本中、世界中の平和を願い実現させたいと強く思いました。

### 中学2年 女子

私は、この「少年平和と友情の翼」沖縄研修で本当はたくさんのことを学びました。

1日目は対馬丸記念館と小桜の塔、首里城公園やひめゆり学徒隊の生存者の方の講話など沖縄でしか感じられない戦争の悲惨さを知ることができました。

特に対馬丸記念館と小桜の塔では、自分よりも小さな子が家族と離れて死んでいくなんで、こんな悲しいことは聞いたことはなくてショックをうけました。その死んでいった子は、寂しくて悲しくて心細かったんだろうなと思うと胸がしめつけられるようでした。

首里城公園は、とてもきれいで感動したけど実は戦争とつながっていたということには驚きました。元姫百合学徒隊の講話は当時のことが鮮明にわかりました。ひめゆり隊の女学生の方も兵隊の方もそれぞれ一生癒えない心の傷を負ったと思うと、とても考えさせられました。

2日目は、ひめゆり平和祈念資料館、平和祈念公園、糸数の壕を見学しました。平和祈念公園には、犠牲者の名前が平和の礎にびっしりと刻まれていて、たくさんの方が犠牲になったことを実感することができました。



ひめゆり平和祈念資料館では自分たちと同じくらいの年の子が大量犠牲者になったことには、すごく胸が傷つきました。また、仲のよかった友人や兵隊さんが死んでいくのを見るのはとても辛かったと思います。ましてや集団自決など「人間が人間ではなくなる」ということを決定づけているようなものだと思います。

糸数の壕は暗くて寒くてとても怖かったと思いました。そんな中で自分達と同年代の女の子が働いていたということはとても信じられません。

今回の研修で、平和と命の大切さ、かけがえのない友情を学ぶことができました。自分が友達を大事にして仲よくすることが平和の輪を広げていけるということを知ることができました。この貴重な経験をもとに、さらに深く平和と戦争について考えていきたいです。

### 中学3年 女子

沖縄の第1印象は、「暑い！」と「アロハシャツ？の人が多い！」まさに沖縄って感じだなあと思いました。初の沖縄ということで、とても楽しみでした。まず、対馬丸記念館は2年の時にアニメを見たことがあるだけで、知らないことが多かったです。資料を見ると、なかには0歳で亡くなった子がたくさんいてとても驚きました。小桜の塔は少ししか見れなかったけど、黙とうの時にはいろんな思いがありました。その後の首里城はとても大迫力でした。食事前の島袋さんのお話はすごく分かりやすく、全身を使ってお話しされたので、その時代に戻ったみたいでした。島袋さんのお話の中で「戦争は人間が人間でなくなる。」という言葉と、「国はもとに戻ったけど、戦争で亡くなった人は戻らない。」という言葉がとても印象に残っています。

2日目は私の楽しみにしていた真和志中学校の方との交流がありました。最初は仲よくなれるか不安でしたが、すぐに話ができたのでとても楽しかったです。平和祈念公園では、初めて知ることが多くてとても衝撃的でした。特に亡くなった方の名前の中に、～の長女とあったのが本当に驚きました。平和祈念資料館では、長崎と全然違った沖縄戦のことについてたくさん知ることができました。その後、ひめゆり平和祈念資料館では、元ひめゆり学徒隊にいた方のお話を聞くことができ、長崎と沖縄の違いをたくさん教えてもらいました。最後の糸数の壕では、本当に入口が狭くて、すごく出入りが難しそうだなと思いました。中に入っても、すごく歩きづらくて、大変だったのかなと思いました。ライトを一斉に消した時は、本当に自分の手も見えなくて、目をつぶっている状態とほとんど変わらなかったです。真和志中学生との交流会もとても楽しくて、あっという間に時間が過ぎていきました。帰る時に「メールするね！」と言ってくれたのでとても嬉しかったです。

今回この研修に参加できて本当によかったです。頼りない私に付いて来てくれた班のみんなや、先生方、その他この研修にたずさわって下さった方々、本当にありがとうございました。この研修でたくさんの友達と出会うことができとてもうれしかったです。また、沖縄に行く機会があれば絶対に行きます！ 沖縄最高★！

## 交流会での意見

7月24日の交流会では、長崎と沖縄の参加者が、各9人～10人で1つのグループ(全6グループ)をつくり、研修で印象に残ったことや場所、戦争や平和について考えたことについて意見交換をしました。その中の一部を紹介します。

### 首里城

- ・沖縄の美しい文化と技術にふれることができ、とても楽しかったです。その反面、一度戦争によって跡形もなく壊されてしまったことを聞き悲しくなりました。その土地独特の美しい歴史的遺産まで壊してしまう戦争は、本当にいけないことだと改めて考えさせられました。

### ひめゆり学徒隊体験者講話

- ・1番心に残っている言葉は、「私たちの戦争はまだ終わっていない」という言葉です。この言葉を聞いて、私は「今私たちにできることとは？」と考えました。63年前のような人間が人間で無くなるような戦争がおきないように、周りの人と協力し、助け合いながら、自分がいる今を大切に過ごすことだと思います。そして、63年前の日本がおかれていた状況を理解し、一人ひとりが平和を願うとともに動き出せればと思います。
- ・今の平和は、このようなつらい過去があった上にあることを改めて痛感し、これからは未来を担う僕たちが平和を訴えていくことがとても大事だと思いました。
- ・「戦争とは人が人でなくなる。」というのを聞いてびっくりしました。人が人を殺し、人が自然を破壊する戦争はあってはならないと思いました。
- ・「建物は建て直すことができるが、人は死んでしまうと元には戻せない。」という言葉が心に残りました。
- ・戦争は人から何もかも奪ってしまうんだなと思いました。

### 沖縄県平和祈念資料館

- ・沖縄が、本土決戦に向けて「時間かせぎの捨石になっている」という解説を見て、沖縄戦の犠牲者に申し訳ない思いになった。
- ・ビデオで沖縄戦の様子を見て、当時の人々の生活を思うと胸がいっぱいになりました。今でも、どこかで戦争があり、苦しんでいる人がいることを忘れてはいけません。

### ひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館

- ・資料館で犠牲者の人達の写真を見て、63年前、本当に悲しくて悲惨なことがあったんだと思いました。
- ・実際にそこで働いていた人の証言を聞いて、当時の大変さがよく伝わりました。証言人の方は「長崎は一瞬で被爆したけれど、沖縄は戦闘がずっと続いていた。」と言っていました。それを聞いて、長崎と沖縄の被害の違いが分かりました。貴重なお話を聞けてありがたいと思った。

### 糸数の壕（アブチラガマ）

- ・カマの中では、肌や目、耳など、五感で当時のことを感じられました。むごさや大変さなどが伝わってきて、「もう二度と戦争はしてはいけない。」「今、私たちが平和に暮らせていることは当たり前のことではなく、とても素晴らしいことなんだ。」と改めて思えました。
- ・ガマでは、足がすべったり、頭をぶついたり大変でした。昔は、その中で一人ひとり生きようと頑張っていたということがわかりました。
- ・当時の人達は、あんな暗いところにずっといて、すごく大変だったことがわかりました。戦争で壊れた物は戻ってくるけど、亡くなった人は決して戻ってこないということが改めてわかりました。
- ・話で聞くのも耐えられないのに、実際に中に入ったら、想像をはるかに超える怖さ、足場の悪さが待ち受けていました。戦争は、人の尊い命だけでなく、自然が長い時を経てつくった芸術をも奪ってしまうことがわかりました。

### 戦争や平和について考えたことなど（全般）

- ・私たちは、日頃平和な世の中に生きているから、命の大切さを知ってるようで意外と知らないと思ひ、命の大切さを改めて感じました。
- ・今の世の中がどんなに平和で贅沢なのかも知ることができたから、今の幸せを大事にしたいと思いました。
- ・この二日間、平和のことについて深く考え、改めて思ったことは、「戦争」という恐ろしい争いをしても、何もいい事はないということです。人間同士でおこした揉め事を、どうして争いをして解決するのかとも思いました。
- ・これからは、どの国も争いがなく平和な世の中であってほしいと心から思いました。
- ・戦争の悲惨さを、後世に伝えていく義務と責任が私達にはあると思います。なので、長崎に帰ったら、まずは「この研修で学んだこと」を周りの人に話していきたいです。そのようにして、長崎から日本へ、日本から世界へと平和を発信していきたいです。
- ・新しい友達とすぐに打ち解ける心の優しさをもち、平和の大切さと命の尊さをたくさんの人に伝えていけるといいです。
- ・ いろんな戦跡を見て、その悲惨さや人々の苦しみがわかりました。やっぱり平和は大切だし、こんな平和な世界を築いてくれた人達へ感謝したいと思いました。
- ・ 沖縄に来て学んだことは、「戦争は人間が人間ではなくなる。」「どんなにお金を集めても、亡くなった方の命は戻ってこない。」ということです。長崎とは違った戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶことができました。とてもよい体験ができました。
  
- ・ 一番心に残ったことは、真和志中学校の人達との交流です。全く知らない人達なのに、みんな優しくしてくれて嬉しかったです。
- ・ 沖縄の中学生の人とたくさん話せてとてもうれしかったです。
- ・ 長崎の学生の皆さんと触れ合っ、楽しんだり、話をしたりして、地域の違いや生活の違いなど、たくさんの方に気付かされました。
- ・ 長崎の人と交流できてよかったです。また、沖縄戦のことも学べたのでよかったです。
- ・ 心に残ったことは、交流会をして長崎の人々と話せたことです。